

陳情第146号	受理年月日	平成28年3月18日
付託委員会	保健病院委員会	
陳情者	八幡東区尾倉三丁目3-22 八幡市民会館と八幡図書館の存続問題を考える会 代表 三崎 英二	
件名	八幡図書館の解体の中止と保存について	
要旨	<p>文化庁は、価値が定まらないまま貴重な建造物が壊されることを懸念し、近現代建造物緊急重点調査事業により戦後に建てられた近現代建造物の調査を2016年から実施する。</p> <p>また、国際学術組織ドコモモが、2014年度に八幡市民会館を「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」の代表的作品として選定した。北橋市長への通知文では、八幡図書館を含む周辺環境の保全、維持に格段の配慮を要請している。2014年5月には、日本建築学会が八幡市民会館と八幡図書館の建築史的価値、歴史的価値、都市形成や都市環境的価値を高く評価し、保存活用に関する要望及び助言の申し出を行っている。</p> <p>八幡駅前には、村野藤吾が設計した八幡図書館、八幡市民会館、福岡ひびき信用金庫本店の3施設があり、国内に例のない貴重な財産となっている。戦災復興都市計画の成功例はわずかであり、その一つが八幡駅を起点とする八幡図書館、八幡市民会館に至る大通りである。この地域の土地区画整理事業は、防災・文化・平和を理念として大規模に行われており、ふかんの見れば、その都市土木学的先駆性は明瞭であって、八幡図書館はその空間を形成する文化的建造物である。</p> <p>八幡図書館は、戦争によって荒廃した土地の復興を願った都市計画の中心部分をなすものであり、戦後の八幡の中心軸となって鎮魂の森を形成し、町の景観をつくってきた。世界産業遺産とつながる近代化遺産を活用して、ストーリーのある町づくりを担う存在である。</p> <p>新病院建設に支障があるというが、工事車両の出入りにどのような支障があるのか理解できない。また、駐車場のために図書館を取り壊すこ</p>	

(続 く)

とに、海外からも疑問の声が上がっている。

については、次のとおり措置していただきたい。

記

- 1 文化庁の近現代建造物緊急重点調査が終了するまで、八幡図書館を解体しないこと。
- 2 工事方法の工夫により速やかな解体を回避し、同図書館を建物として保存する可能性を残すこと。